

ごみの分け方・出し方

プラスチック製容器包装は

洗って出してください！

最近、家庭から出された「プラスチック製容器包装」の中に「汚れたままのもの」や、「燃やせるごみ」、「プラスチック製容器包装以外のプラスチック製品」が混ざっています。

清掃センターでは、収集されたプラスチックの中から、汚れたものやプラスチック以外のものなどの異物を、作業員が手作業で取り除いています。

汚れているものは資源としてリサイクルすることができません。また、汚れが付着しているものと、他のプラスチックを汚してしまいリサイクルすることができなくなり、費用をかけて処分することになります。

◆プラスチック製容器包装って？

食料品や日用品などの商品を買ったときに使われているプラスチック製の入れ物（容器）や包み（包装）のことです。容器包装プラスチックは、商品の側面や裏側にプラマークが表示されているので、このマークを基準に分別をお願いします。



▲このマークがあるものは容器包装プラスチック

☎ 055(949)6805
 伊豆の国歴史ガイドの会(福山) 廃棄物対策課

●注意① 洗って乾かして…

出すときは必ず中身を使い切り、汚れているものは洗って乾かしてから出してください。同じ袋に入っている他の容器を汚さない程度まできれいな状態にしましょう。

●注意② 二重袋にしないで…

プラスチック容器包装ごみを小分けにレジ袋などに入れた状態で、さらに指定袋に入れて出されてしまうと、清掃センターでの作業が手間取ります。容器包装はそのままの状態直接、指定袋に入れてください。

11月23日～12月4日の間は

「最大辺が30cmを超える」ものを 燃やせるごみに入れないでください

長岡清掃センター改修工事に伴い、11月23日（月）～12月4日（金）の期間は、三島市にごみを搬出し、焼却します。

三島市では、最大辺または径が30cmを超えるものを収集しないこととなっているため、期間中、このような燃やせるごみを出さないよう、ご協力をお願いします。

◆対象者

- ・長岡地区、大仁地区のごみ集積所に出す場合
- ・長岡および大仁清掃センターに直接ごみを搬入する場合

◆なぜ30cmを超えるものを

出せないの？
 三島市の焼却炉には破砕機がなく、炉の入口でごみが詰まってしまう恐れがあるため、出せなくなっています。

◆30cmを超えるものを

集積所に出してしまったら？
 違反ごみとはしませんが、12月7日（月）以降の回収まで集積所に残り残すこととなります。生ごみが入っている場合には、持ち帰ってもらう場合があります。

◆指定ごみ袋にも制限があるの？

30cmを超えるものが入っていないければ、全ての大きさのごみ袋（45L・30L・15L）が使用できます。

◆30cmを超える物の例

- ・衣類やバスタオルなどで、30cm以下に小さく切らずにそのままの状態のもの
- ・最大辺が30cmを超えるカバンやぬいぐるみなど
- ・最大辺が30cmを超える家具の一部や木の枝など

☎ 055(949)6805

伊豆の国歴史ガイドの会(福山) 廃棄物対策課



ごみは「指定のごみ袋」で「指定の場所」へ！

世界遺産でガイドしませんか？

☎ 090(3253)3307
 伊豆の国歴史ガイドの会(福山)

伊豆の国歴史ガイドの会は、歴史、文化、自然など、市の魅力をより多くの人に理解してもらうことを目的とした団体です。

葦山反射炉をはじめ、市内の史跡でガイド活動を行っています。歴史を訪ね、新しきを知り、語ることは人生を豊かにします。興味のある人は、問い合わせください。

【教えて！歴史ガイドの会】

Q 会員にはどのような人がいますか？
 A 年齢は20代から80代前半、仕事はサラリーマン、主婦、農家など幅広い年代、さまざまな職業の人が会員となっています。

Q ガイドになるためにはどうしたら良いですか？
 A 一人前のガイドになるために、歴史ガイドの会で用意したカリキュラムの受講や、先輩ガイドの様子を見ながら、知識や接客などを学びます。初心者の人でも心配ありません。

Q 活動は月に何回ですか？
 A ガイドとしての活動回数は、人により



私たちの仲間になってください！

異なります。毎月末に一回定例会を開き、当番が決まります。その人の都合に合わせて当番回数となります。

伊豆の国市友好都市交流協会 歴史講座 北条義時を知っていますか？

☎ 伊豆の国市友好都市交流協会事務局
 (市役所市長公室内)
 ☎ 055-948-1431

2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の主人公として注目される北条義時の生涯と活躍、そして出身地である伊豆の国市との関わりについて、改めて学んでみませんか？

伊豆の国市出身の北条義時は、旗揚げから鎌倉幕府創立まで、源頼朝に最も信頼される側近として活躍しました。

頼朝の死後、父北条時政が失脚した後は、2代目執権として姉政子とともに幕府を支え、承久の乱では京都の上皇方とも戦いました。そんな歴史上の重要人物である義時ですが、時政や政子と比べて知名度が低いようです。

また、約150年間続いた鎌倉幕府の基礎を築いたのが義時であることも、あまり知られていません。

とき／11月28日(土)
 14:00～15:30(13:30開場)
 ところ／あやめ会館3階多目的ホール

定員／170人(先着順)
 料金／入場無料(マスク着用でご来場ください)
 講師／池谷初恵氏(市文化財課文化財調査員)
 その他／マスク着用、受付での検温、手指消毒など感染予防にご協力ください。また、新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。